

第66回 男鹿駅伝競走大会イベントレポート (第5回:5区)

【第5区】

レースはいよいよ後半3区間始めの5区へ。

4区後半から立ち込めた霧は更に深く濃くなり、前方の視界を奪っていく。前方に目標物の見えない選手たちは数m先の路面だけを見ながら歩を進める。



5区：7.62km (賀茂～戸賀出張所)



濃霧で前が見えない・・・

4区に続き5区のコースも「おが潮風街道」沿いに前半はアップダウンを繰り返し、中盤一気に男鹿水族館 GAO へと駆け下る。そこからは次の中継所まで見渡せる戸賀湾の海岸線を最後の力を振り絞って走り切るのだが、男鹿水族館までの山下りで完全に足を使ってしまっているため、下り切った後の最後の3km弱が平坦なのに本当にキツく、身体が思うように動かない。



男鹿水族館 GAO (写真提供：男鹿なび)

コース中にある男鹿水族館 GAO には 400 種 1 万点の生き物がいて、ホッキョクグマの豪太とケルミヤ秋田県の魚に指定されているハタハタ博物館など人気の展示がある。行ったことはないが・・・



今年5区を任されたのは・・・茶目っ気たっぷりのこの男、入社5年目の松谷 公靖である。三重県出身で、4区を走った石原先輩と同じく新エネ事業本部管理部生産管理課に在籍し、今は主にPS量製品の生産管理業務を担当している。

今どき珍しく体育会系の川と熱さを持ち、何事にも一生懸命でチームのムードメーカーである。

入社1年目は光る走りがあったが、その後は目立った個人成績も無く、記録では目立たないものの、故障の少なさとお祭り男的な川から各駅伝には起用され出場し続けている。

駅伝においても調子に波があるため、その点が監督としてはイマイチ使い辛い選手ではあるが、不思議と「記録には残らないが記憶に残るタイプ」で、走りにもそれがよく表れている。



前半、濃霧の中を走る松谷

松谷は石原からタスキを受けると、濃霧の中をいつも通りの気合十分の走りで飛び出した。前方の学生チームとの差はあっという間に縮まり、一気に追いつくかと思われたが、学生も差を詰められたことを察しペースを上げ、逆に走り出した以上に引き離されていく。



視界の悪い中、必死に前を追う松谷

毎度勢いよく飛び出していくのが彼の良いところでもあり悪いところでもある。

駅伝ではタスキを受取った際の冷静な状況判断により、走りを変えることが必要であり、力があれば前半での多少の無理もカバーできるが、その域にない選手はいかに的確な状況判断をして、自分の走りに徹することができるかが結果を大きく左右することになるだろう。

そういう意味では、折角近くに石原先輩のような選手がいるのだから手本にして欲しい。



5⇒6 区中継所付近の高台から眺める戸賀湾（写真提供：男鹿なび）



中継所まで残り僅か、ラストスパートだ！！ 松谷！！

松谷は学生チームに広げられた差を後半に何とか挽回し、タイム差を27⇒33秒差に広げられてしまったが最小限に食い止め、男鹿水族館前を通過、海岸線沿いで前田監督のゲキに応じて懸命にスパートし、6区の八木沢にタスキを渡して役割を終えた。

今日も気持ちを前面に押し出す走り自体はよかったが、残念ながら、ここで連続区間賞は途絶え、惜しくも区間賞に僅か6秒差の区間2位と、視界にも全く入らない一般の後続選手に区間賞の座を譲ってしまった。

今日のようなもったいない走りを糧に、しっかりと力をつけて、勢いだけでなく冷静な状況判断の上で、常にその日の最高の走りをできるように今後の成長を期待したい。

【5区成績】一般の部

距離 : 7.62km

順位 : 2/39位 (大学を含む全体順位 : 9/53位)

タイム : 23分55秒 (目標タイム : 23分30秒)

以 上

※ イベントレポート (第6回 : 6区) へ続く